取扱説明書

節水型自動水栓
せせらぎ
AMENITY Co.,Ltd.

このたびは、本製品をお買上げ
いただきまして誠にありがとうございます。
末永くご愛用頂くために、
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

安全に関するご注意

注意

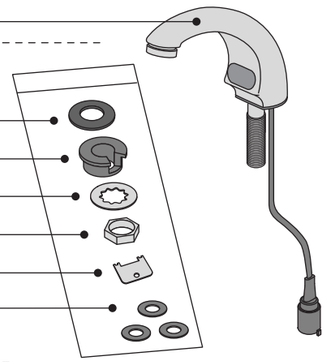
本製品をお使いになる前に、本書裏面の「本製品を正しくお使いいただくために」を必ずお読みになり、使用上の注意事項をお守りください。

取付方法につきましては、本書裏面をご参照ください。

①梱包品の確認

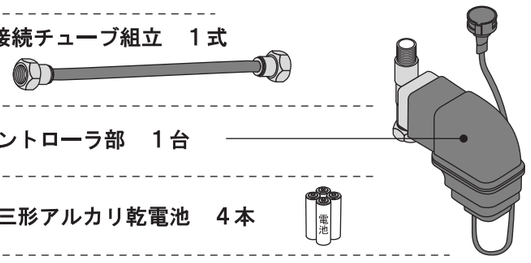
1．吐水部本体　１個

2．付属品セット
- 平パッキン　１枚
- Cリング　１個
- 菊座金　１枚
- 取付ナット　１個
- 専用工具　１個
- ゴムパッキン３枚



3．接続チューブセット

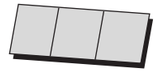
接続チューブ組立　１式



4．コントローラ部　１台

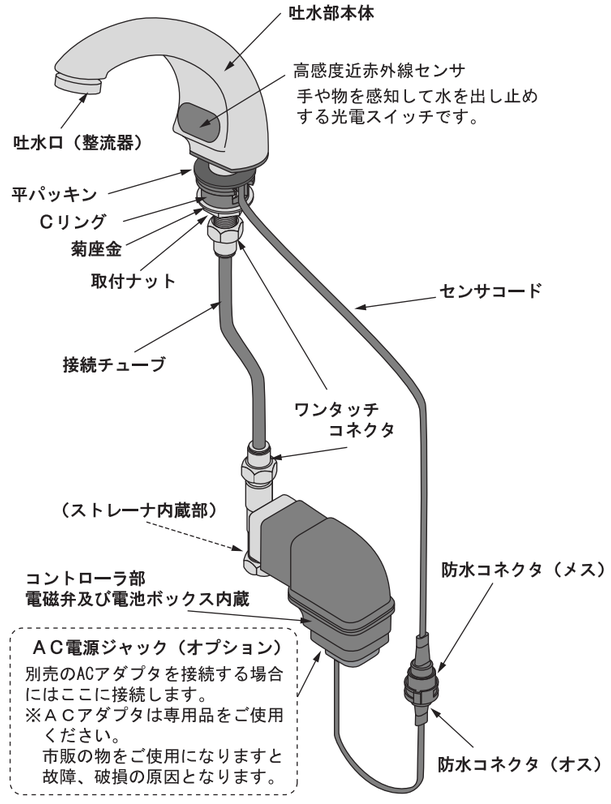
5．単三形アルカリ乾電池　４本

6．製品登録カード／製品保証書　１通



7．取扱説明書（本書）　１通

②各部の名称



ＡＣ電源ジャック（オプション）
別売のACアダプタを接続する場合にはここに接続します。
※ＡＣアダプタは専用品をご使用ください。
市販の物をご使用になりますと故障、破損の原因となります。

③仕様　せせらぎ

電　源　電　圧	ＤＣ６Ｖ（単３アルカリ乾電池×４本）
電　池　寿　命	３～４年（使用頻度により変動）
接続ネジ寸法	Ｒ１／２
最小吐水量	１１４Ｌ／ｈ
耐　　圧	１．７５ＭＰａ
使　用　圧　力	０．０５ＭＰａ～０．８ＭＰａ
使　用　水　温	１℃～５０℃
室　温　範　囲	１℃～５０℃
室内湿度範囲	９０％ＲＨ以内

ＡＣアダプタ仕様（オプション）

型　　式	ＡＤ－８
入　　力	ＡＣ１００Ｖ　５０／６０Ｈｚ
出　　力	１００ｍＡ
規　　格	ＰＳＥ

１００Ｖ使用可

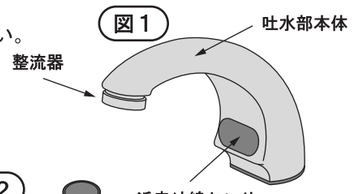
※ACアダプタをご利用の際は、電池ＢＯＸ内に乾電池を入れない様お願い致します。
（使用期限を越えた乾電池を挿入したまま放置しておきますと、乾電池からの液漏れにより本製品を破損させる恐れがあります。）

④お手入れのしかた

○吐水部本体の手入れ
メッキされた部分が光沢を保つように、清掃の際は洗剤を使わずに柔らかい布などで磨いてください。
（時々ワックス等でみがくと輝きが持続します。）

注）クロームメッキは塩素系洗剤を使用しますと変色致しますので絶対に使用しないでください。（酸性及びアルカリ性、どちらの洗剤も使用しないでください。）

図１



○近赤外線センサの手入れ
週に1～2回程度、近赤外線センサ（図1）の表面を柔らかい布でふいてください。
汚れがひどい時は、中性洗剤を適当に薄め、布などに含ませて、ふきとってください。
次に水を含ませた布をよく絞って洗剤をふきとり、最後にからぶきしてください。

○コントローラ部の手入れ（図２）
1年に1回程度、中性洗剤を適当に薄め、柔らかい布に含ませて清掃してください。
次に水を含ませた布をよく絞って洗剤をふきとり、最後にからぶきしてください。

○吐水口（整流器）の清掃（図３・４）
吐水口の整流器部分が詰まると水の出が悪く、充分な機能が発揮されません。
1年に1回程度、整流器を付属の専用工具で取り外し、ブラシ等で清掃をしてください。

図２

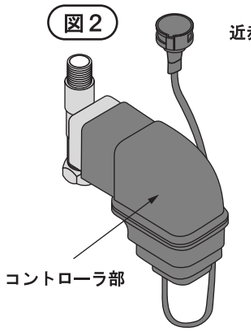


図３

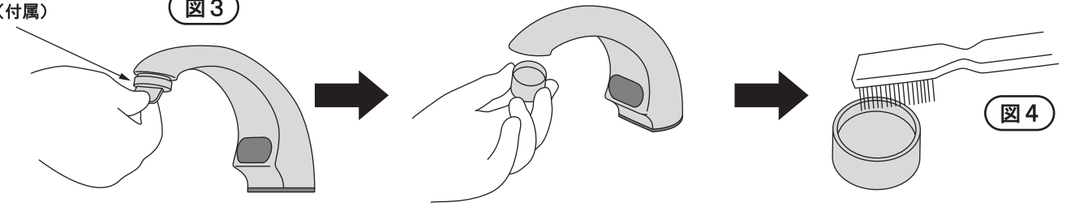


図４

○ストレーナの清掃
ストレーナが詰まると吐水量が少なくなり、充分な機能が発揮されませんので1年に1回程度ブラシ等で清掃をしてください。

⑤修理のご依頼の前に

修理の前にご確認ください

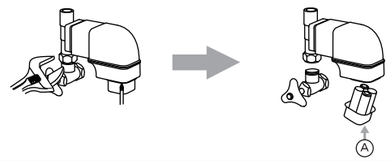
症　状	確認項目	処置方法
水が出ない。	１．止水栓は閉まっていませんか。	閉まっていたら開きます。
	２．防水コネクタは、確実に差し込まれていますか。	差し込まれていなければ差し込みます。
	３．近赤外線センサの前に障害物はありませんか。	あれば取り除きます。
	４．近赤外線センサの表面が汚れていませんか。	センサ表面を清掃します。
	５．ストレーナにゴミが詰まっていませんか。	ストレーナを清掃します。
	６．乾電池が切れていませんか。電池切れ４８時間前に、表示ランプ（赤）が点滅します。	乾電池（単三形アルカリ乾電池４本）を交換します。
水が止まらない。または、水の止まりが遅い。	１．近赤外線センサの前に障害物ありませんか。	あれば取り除きます。
	２．近赤外線センサの表面が汚れていませんか。	センサ表面を清掃します。
	３．整流器にゴミが詰まり、水が揺らいで出ていませんか。	整流器を清掃します。

※アフターサービス
アフターサービス（点検・修理）を依頼される前に
１．トラブル症状で、確認項目をもう一度ご確認ください。
２．それでも不具合な場合、または不明な場合はお取付けのアメニティショップへご連絡ください。

株式会社アメニティ
〒２２１－０８６３　横浜市神奈川区羽沢町６８５
ＴＥＬ．０４５－３７１－７６７６

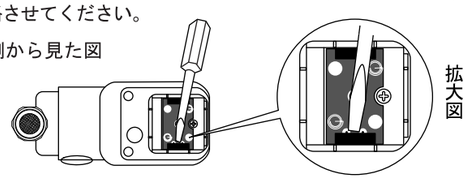
●リセット方法●
電池交換しても不具合が直らない場合、内部コンデンサーに不要電流が送られ、動作停止状態（回路保護のため）が起きている可能性がありますので、リセット（短絡作業）を行ってください。

①止水栓を締めて、コントローラ部と電池ボックスを取り外します。



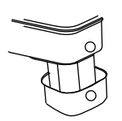
②下記拡大図のように、細いマイナスドライバー等で回路端子に触れて、短絡させてください。

※ Ⓐ 側から見た図



③電極の向きに注意して、電池ボックスとコントローラ部の白丸印をあわせてセットしてください。また、コントローラ部を止水栓に取付ける際は、ゴムパッキンが入っているか確認してください。

電極方向確認


電池ボックス位置合わせ

ゴムパッキン取付

本製品を正しくお使いいただくために

施工される皆様へ
自動水栓の取付は、この付属取扱説明書に沿って、正しくお取付ください。
誤った取付を行うと、製品の破損、故障の原因となりますのでご注意ください。

⚠ 警告

▼電気製品ですのでコントローラ部に直接水をかけないでください。発熱、漏電し、火災の原因となり危険です。

▼製品を分解、改造しないでください。発熱、漏電、火災の原因となります。

▼浴室など湿気の多い場所での使用は故障の原因となりますので避けてください。

▼本品は必ず上水道でご使用ください。上水道以外で使用されますと故障、破損の原因となります。

▼新築、改築、既存水栓交換の際は本品を取付る前に必ず空流し（ゴミなどの異物を出す。）を充分に行ってください。空流しをしないと、ストレーナ、電磁弁内部にゴミなどの異物が侵入し故障、破損の原因となります。

▼本品は寒冷地仕様ではありません。凍結の恐れのある場所でのご使用の際は、必ず凍結防止ヒーターなどを併用してください。

⚠ 注意

▼センサの感知距離はコントローラ部と一体で調整されています。必ず同梱の吐水部とコントローラ部の製造番号が同じであることを確認してから設置してください。

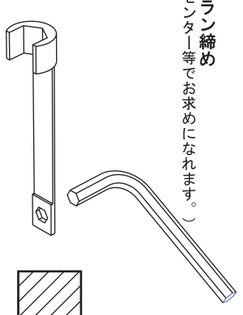
▼コントローラ部は必ず垂直に設置してください。本体を逆さまに取り付けたり斜めに取り付けたりしますと、水などが侵入し故障、破損の原因となります。

取付方法

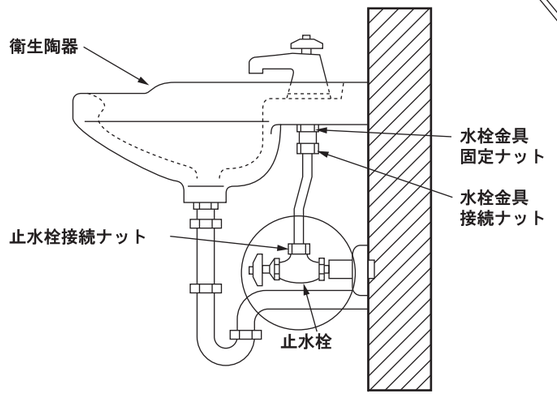
1．既存水栓金具の取り外し（図Ａ）

①陶器の下にある止水栓を回して水を止めます。
②止水栓とアングルパイプを接続している止水栓接続ナットをモンキースパナなどでゆるめて取り外します。
③陶器に水栓金具が水栓金具固定ナットで固定されていますので※立ちカラン締めなどで取り外してください。

※立ちカラン締め（ホームセンター等でお求めになれます。）



図Ａ

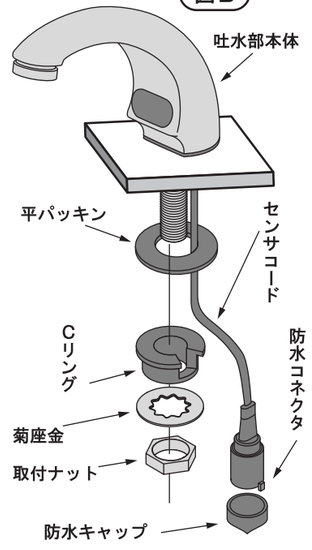


2．吐水部本体の取り付け（図Ｂ）

①既存の水栓金具を取り外した後、陶器の穴に防水コネクタ、センサコードを通して吐水部本体を差し込みます。
②陶器の下側の防水コネクタ、センサコード、吐水部本体の接合部に平パッキンを差し入れます。
③Ｃリングの切り口にセンサコードを逃がすようにして、菊座金を入れ、取付ナットを立ちカラン締めなどの工具で締め込みます。
その際、センサコードを噛み込まないように注意します。

〈注意〉
防水コネクタを絶対に水につけないでください。
Ｃリングを入れずに取付ナットを締め込んだり、切り口にセンサコードを入れずに締め込んだりすると断線の原因になりますので十分注意してください。

図Ｂ

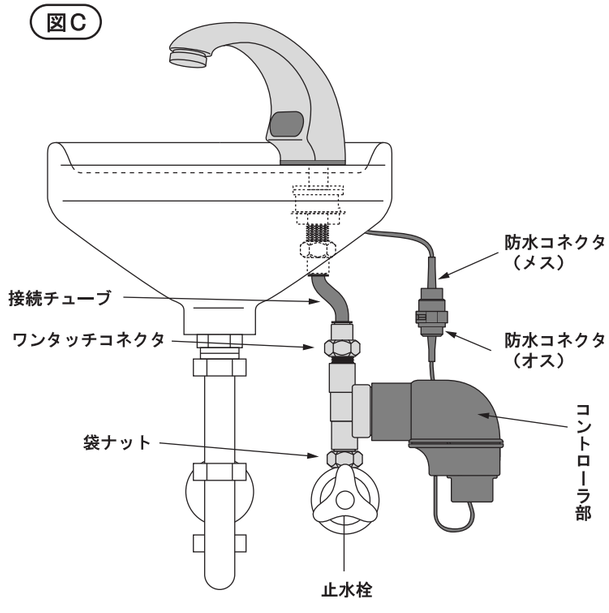


3．コントローラ部の取り付け（図Ｃ・Ｅ）

①「本製品を正しくお使いいただくために」の項目を必ず確認してください。

〈注意〉
防水コネクタを絶対に水につけないでください。防水コネクタに付いている防水キャップは接続まで外さないでください。

図Ｃ



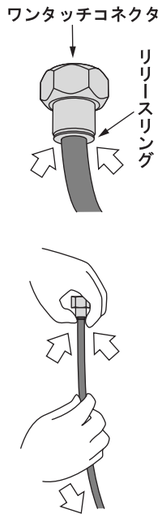
②コントローラ部とゴムパッキンを止水栓に取り付け、袋ナットをモンキースパナなどで締め込みます。
コントローラ部の向きは止水栓のネジと袋ナットの接続が真上を向くようになっていれば回転方向はどの向きでも構いません。
最終的に電池交換の際に、作業性の良い方向を選んでください。

取付方法

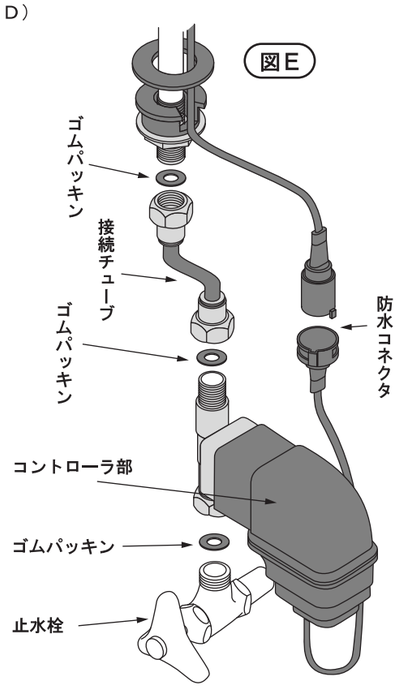
4．接続チューブの取り付け

①接続チューブからワンタッチコネクタ（２個）を外します。
ワンタッチコネクタのリリースリングを押しながらチューブを引き抜きます。（図Ｄ）

図Ｄ



図Ｅ

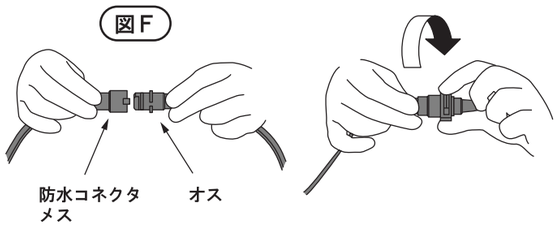


②ワンタッチコネクタにゴムパッキンを1枚入れて吐水部本体側の接続部にねじ込み、モンキースパナなどで固定します。（図Ｅ）
③コントローラ側の接続部にもワンタッチコネクタにパッキンを１枚入れてねじ込み、モンキースパナなどで固定します。（図Ｅ）
④接続チューブを、吐水部本体側に取付たワンタッチコネクタに差し込みます。
※チューブは不要な長さを切断し、コントローラ部側のワンタッチコネクタに差し込んでください。この時、差し込みしろを２０mm程確保してください。また、切断面はなるべく水平になるようにしてください。

5．センサーコード防水コネクタの接続（図Ｆ）

①コントローラ部側の防水コネクタ（メス側）に付いている防水キャップを外します。

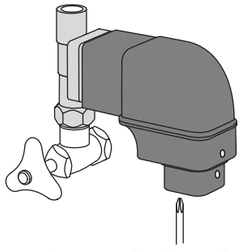
図Ｆ



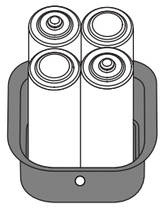
②防水コネクタのオス側（コントローラ部側）の穴とメス側（スパウト側）のボスを合わせて奥まで差し込みます。

〈注意〉
コネクタを外す場合は無理に引き抜いたり、回したりしないでください。ピン折れなど破損の原因となります。

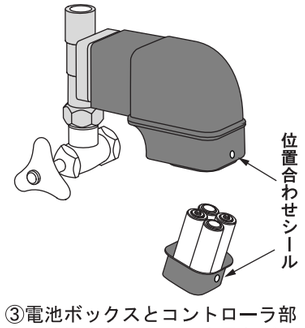
6．コントローラ部への電池セットの方法、電池交換の方法



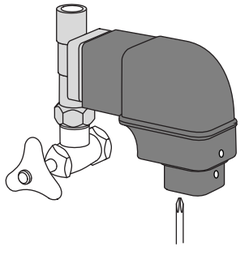
①コントローラ部下側にある、取付ネジを、プラスドライバで緩めて電池ボックスを取り外します。



②電極の方向に気をつけながら、電池を挿入します。



③電池ボックスとコントローラ部の位置合わせシールを見ながら電池ボックスを取付けます。



④プラスドライバで取付けネジを締め込み固定します。

取付後の確認

取付後、次の方法で確認を行ってください。

１．吐水口直下の近赤外線センサ感知エリア（図Ｇ）の所に手を近付けると水が出ます。手を放し水が止まる事を確認して下さい。
２．吐水口より水を連続的に出し、その状態で、止水栓により水の流量調整を行って下さい。

※連続給水状態は約30秒間続きます。その後、オートストップ機能で自動的に止まります。

図Ｇ